

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プティ倶楽部南与野		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 3月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 27名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 3月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 毎月新しい活動を取り入れ、新鮮さや新しい楽しみを見つげられること。 納涼祭、運動会、クリスマス会などのイベントを定期的に行っていること。 専門職員による個別、小集団での活動を取り入れていること。 	毎月職員間でプログラムを立案し、子どもたちが楽しめるような活動を取り入れています。イベントに関しても毎年変えることで飽きの来ないよう工夫を行っています。専門職による活動を行う際にはパーティションを用いて、限られたスペースの中でも全員が充実した活動となるよう意識しています。	現在当日に選択制のレクリエーションを用意しています。プログラム立案の段階で子どもたちに何日に何の活動を行いたいかなど話し合いをする時間を設け、取り入れていくことによって通所がさらに楽しみになる可能性があります。
2	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時やお電話等にて保護者様と児童の情報共有が行えていること。 面談の際にニーズや希望をお伺いし、共通認識を持てていること。 	当日の児童の様子や体調面などで気になったことを、まずは職員間で確認し、迅速に保護者様へ共有しています。ニーズやご希望に応じた支援となるよう、日頃からご自宅や学校でのご様子をお伺いし、共通認識にずれがないよう意識しています。	保護者様のお仕事の関係上、情報共有を図れないこともあるため、予めお電話が出来る日時をお伺いし、全員に対してサポートできる環境を整えていく必要があります。
3	<ul style="list-style-type: none"> 質の向上を目指し、毎月研修を行っていること。 また、事業所内や課外活動の際の事故やトラブル防止に努めることが出来ていること。 	研修で行ったことを研修で終わりにするのではなく、実際の場面で対応できるように繰り返し座学で学び、実演をしています。	現在研修の他、安全計画等も毎月行っていますが、月単位だけではなく、毎日の朝礼時の際にも職員から意見を出しあい、より事故を未然に防げられるような環境を作っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様同士で話しあう機会や横の関係を築く場面が少ないこと。 	令和6年度は保護者会が1回しか開催できなかつたことが大きな要因と考えられます。また、定期的におこなうイベントの中で、保護者様同士が交流できる機会を用意できなかったことも一つの要因となります。	保護者会の回数を増やし、懇談会をメインとする開催の検討の他、横の繋がりを作れるよう共通のテーマを用意する等の工夫が必要です。また、イベントも保護者様同士で関われる活動を取り入れることも大切だと考えられます。
2	<ul style="list-style-type: none"> 児童クラブ、地域の他の子どもたちと関りながら活動する機会を設けることが出来ていない。 きょうだいの参加がイベントなど限定的なものとなってしまっている。 	活動時間の兼ね合いと情報不足により、交流できる機会を設けることが出来なかつたことが要因です。安全面を考慮し、地域への参加に積極的になれなかつた点も改善すべきところです。	まずは地域とのかかわりを増やし、イベント情報や児童クラブで行っている活動の情報をキャッチし、こちらから積極的にアプローチする必要があります。運動会などのイベントの他、きょうだい参加できる活動を検討していきます。
3	<ul style="list-style-type: none"> 児童の人数によっては室内でのスペースに限りが出てしまい、ボール遊びや体を使った遊びが制限されてしまうことがある。 個室での個別対応時、環境の問題で満足に出来ない時がある。 	スペースの問題で、児童の人数が多い日についてはボール遊びなどは怪我や事故に繋がってしまう恐れがあるため制限が出てしまっています。また個別で対応できる個室を用意していますが、完全にリラックスできる環境を整えることが難しいです。	体を動かしたい児童のニーズに応える為、自由時間に少しでも外に出られる機会を増やしています。また個室のスペースでは、児童が落ち着けるような物や音楽を流すことが出来る環境を用意し問題を解決していきます。